

## 令和3年度事業報告

### 1 事業概要

我が国は、「超高齢・人口減少社会」に突入し、労働力人口の減少が進行する中、高齢者が年齢に関わりなく人手不足分野や現役世代を支える分野での就業の促進は、高齢者の生活の安定、生きがいの向上や事業所等の人手不足の解消、社会・経済の維持、発展等のためにますます重要となっています。

このような状況の中、一昨年発生した「新型コロナウイルス感染症」の影響で就業の中断や縮小廃止等を余儀なくされましたが、構成市であります甲州市、山梨市をはじめ関係機関のご支援、ご指導のもと、計画に沿った事業運営により多様な就業形態に対応するとともに、会員と役職員が一丸となって事業拡大を図るべく諸施策を講じてまいりました。

なお、運営経費については、国並びに両市の補助金を基盤として事業を展開していますが、国・地方の財政事情が厳しい中であって、シルバー事業に対して、最大限のご理解をいただき補助金の交付をしていただきました。

就業開拓等においては、依然厳しい状況のもとでの事業展開となりましたが、公益法人として「法令遵守」を意識した活動が求められていることから厚生労働省から示された適正就業ガイドラインに沿って、引き続き適正就業の視点に立った請負契約の見直しを行った結果、一部は派遣事業への移行に繋がりましたが、契約の解除、発注者の直接雇用などの対応が余儀なくされ、契約額が減少しました。

事業の受託状況については、請負・委任では、受注件数 1,658 件、就業実人員 354 人、就業延べ人員 31,370 人、契約金額では前年度比 9.17%減の 1 億 5,150 万 1,475 円となりました。

一方、労働者派遣事業では、請負からの切り替えにより受注件数 20 件、就業実人員 37 人、就業延日人員 3,382 人、契約金額では前年度比 7.99%減の 2,447 万 8,952 円の実績となりました。

今後も、基本理念（自主・自立、共働・共助）を軸とし、会員、役員、事務局が一丸となって組織体制を充実させ、高齢者が有する経験と能力を活かして地域社会で活躍する場を提供し、これまでの社会への感謝を忘れず市民の皆様に信頼され、地域に根差した事業活動を実施して参ります。

事業の内容に関する詳細は次のとおりです。

### 2 事業実施内容

#### (1) 就業機会提供事業

##### ① 雇用によらない就業機会の提供

高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を一般家庭、民間企業及び公共団体等等から引き受け、会員の能力、希望等に応じて請負又は委任という形式で会員に就業機会を提供しました。

受託事業については、前述のとおり前年度を1,389万7,272円（受注件数△22件）の減額となりました。

② 雇用による就業機会の提供

適正就業の推進を図るため、労働者派遣事業による就業機会の提供を行いました。労働者派遣事業については、前述のとおり前年度を195万8,135円（受注件数±0件）の減額となりました。

(2) 事業運営体制の充実

① 事業発展のため、県、全シ協、連合会、県内の拠点シルバー人材センター等関係団体、また、構成市との連携を密にし、広域的な就業機会の開拓・情報収集に努め事業運営体制の充実を図りました。

② 全シ協及び県連合会等主催の研修会に参加し職員の資質向上を図りました。

③ 会員拡大については、広報誌等を通じた会員募集や定期的に入会説明会を開催するなど入会促進に努めました。しかしながら、65歳までの雇用確保義務及び70歳までの就業確保努力義務等により、65歳未満の入会者が減少するとともに加齢等による退会者が一定数いたことから、前年度より6人減少し410人となりました。

(3) 就業機会の確保と開拓

① 会員、役職員が一体となり、就業方法及び就業場所の開拓を検討し就業機会の増加を図ってきました。

② 就業機会開拓推進員による甲州市、山梨市の事業所、一般家庭など1,184件（前年比885件増）を訪問し、2,527件（前年比66件減）のポスティングチラシの配布を行い、その内、新規受注開拓件数は、88件の成果を挙げることができました。また、既に受注している事業所等には継続のお願いも実施し、就業の確保と就業率の向上に努めてきました。

③ 就業希望をする高齢者を対象に就業相談を実施した結果、相談件数は80件（前年比21件増）の実績がありました。

④ すべての会員に就業の機会を提供できるよう、就業中の会員に理解と協力を求め、ローテーションやワークシェアリングを進めてきました。

(4) 農作業（果樹栽培等）への積極的支援

地場産業である果樹栽培における農業の担い手の減少と高齢化の進行が果樹農家の将来に大きな課題となっている状況のなか、地域の担い手として農家に就業を行いました。一方、農作業の出来る会員が限られており、受託できない状況が課題として残っております。

(5) 福祉・家事援助事業への積極的参加

福祉・家事援助サービス事業の現状を踏まえ、更なる受注の増大に備え、質の高いサービスを提供するため、行政と連携を図り的確な把握に努めました。

#### (6) 安全・適正就業の推進

- ① 会員の安全就業の推進と健康管理についても常に助言を行い、また安全委員会を開催するとともに連合会主催の研修会にも積極的に参加し、安全委員会を通じて組織的に安全就業の推進を図りました。
- ② 安全・適正就業パトロールを実施し、また、安全就業推進啓発文書を発行し、安全適正就業の推進を図りました。
- ③ 熱中症の注意喚起や気象情報等、情報が速やかに伝わるよう、新たにショートメールによる周知を開始し安全確保に努めてきました。

#### (7) 普及啓発活動の推進

- ① 高齢者の就業促進や適正な就業維持を図るため、「シルバー人材センターだより」を発行し、管内の全戸及び事業所等に配布を行いました。また、構成市の広報誌を活用して会員募集の周知を図りました。
- ② シルバー事業への信頼と理解が得られるようチラシ等配布し、一般家庭、事業所、官公庁に対し本事業の意義と理念及び仕組み等を周知するとともに高齢者自身の本事業に対する意識啓発にも努めました。

#### (8) 社会参加活動の推進

地域社会を支える担い手として、公共施設の除草や清掃のボランティア活動を実施しました。

#### (9) 消費税における適格請求書等保存方式への対応

令和5年10月から、シルバー人材センターにとって極めて大きな影響を受ける「インボイス制度」の導入が予定されていることを踏まえ、シルバー人材センターの事業運営に対し十分な緩和措置を図られるよう構成市の議会を通じて関係省庁へ意見書を提出していただきました。また、正副理事長には自治体の首長としての立場に於いて特例措置等を求める要請を行いました。

### 3 総会・理事会の開催

定款に定める当センターの事業目的に沿って運営できるよう、次のとおり開催しました。

- |            |              |            |
|------------|--------------|------------|
| (1) 定時総会   | 令和3年5月28日(金) | 萩原山恩賜林記念会館 |
| (2) 第1回理事会 | 令和3年5月14日(金) | 萩原山恩賜林記念会館 |
| 第2回理事会     | 令和3年9月15日(水) | 萩原山恩賜林記念会館 |
| 第3回理事会     | 令和4年3月17日(水) | 萩原山恩賜林記念会館 |

正味財産増減計算書  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	151,501,475	165,398,747	△ 13,897,272
受取配分金	137,889,108	150,577,761	△ 12,688,653
受取材料費等	1,878,198	2,029,011	△ 150,813
受取事務費	11,734,169	12,791,975	△ 1,057,806
労働者派遣事業等受託収益	1,717,747	1,809,483	△ 91,736
労働者派遣事業等受託収益	1,717,747	1,809,483	△ 91,736
受取会費	979,000	1,045,000	△ 66,000
正会員受取会費	979,000	1,045,000	△ 66,000
受取補助金等	28,508,000	26,908,000	1,600,000
受取連合交付金	12,008,000	10,408,000	1,600,000
受取(市)補助金	16,500,000	16,500,000	0
雑収益	2,821	9,862	△ 7,041
受取利息	321	362	△ 41
雑収益	2,500	9,500	△ 7,000
経常収益計	182,709,043	195,171,092	△ 12,462,049
(2) 経常費用			
事業費	183,897,815	194,395,573	△ 10,497,758
支払配分金	137,889,108	150,577,761	△ 12,688,653
支払材料費等	1,878,198	2,029,011	△ 150,813
給料手当	25,575,014	22,211,972	3,363,042
臨時雇賃金	1,780,890	1,760,880	20,010
法定福利費	4,003,286	3,810,347	192,939
退職給付費用	1,941,564	1,476,379	465,185
福利厚生費	162,432	128,832	33,600
会議費	23,760	18,634	5,126
旅費交通費	4,280	0	4,280
通信運搬費	871,625	934,640	△ 63,015
什器備品費	27,280	29,700	△ 2,420
消耗品費	636,156	816,000	△ 179,844
修繕費	147,389	85,705	61,684
印刷製本費	913,165	984,720	△ 71,555
光熱水料費	367,581	357,831	9,750
賃借料	2,867,923	2,846,227	21,696
保険料	1,814,970	2,113,510	△ 298,540
租税公課	240,800	1,259,100	△ 1,018,300
支払負担金	1,600	1,600	0
委託費	2,691,933	2,919,284	△ 227,351
支払手数料	56,861	33,440	23,421
雑費	2,000	0	2,000
管理費	781,328	676,901	104,427
給料手当	131,454	130,584	870
法定福利費	21,486	22,884	△ 1,398
退職給付費用	3,876	2,261	1,615
会議費	9,220	10,080	△ 860
役員等旅費交通費	22,000	24,000	△ 2,000
通信運搬費	64,260	29,610	34,650
消耗品費	68,640	7,686	60,954
印刷製本費	64,955	52,470	12,485
賃借料	9,990	8,240	1,750
保険料	84,640	84,640	0
租税公課	1,400	5,000	△ 3,600
支払負担金	240,000	240,000	0
委託費	20,502	36,036	△ 15,534
支払手数料	3,905	3,410	495
雑費	35,000	20,000	15,000
経常費用計	184,679,143	195,072,474	△ 10,393,331
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,970,100	98,618	△ 2,068,718
当期経常増減額	△ 1,970,100	98,618	△ 2,068,718
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
車両運搬具除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,970,100	98,618	△ 2,068,718
一般正味財産期首残高	24,365,489	24,266,871	98,618
一般正味財産期末残高	22,395,389	24,365,489	△ 1,970,100
II 正味財産期末残高	22,395,389	24,365,489	△ 1,970,100

貸借対照表  
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
普通預金	23,635,789	26,230,451	△ 2,594,662
未収金	10,846,802	9,982,555	864,247
立替金	0	2,900	△ 2,900
前払金	87,540	84,640	2,900
流動資産合計	34,570,131	36,300,546	△ 1,730,415
<b>2. 固定資産</b>			
(1) その他固定資産			
車輛運搬具	3	3	0
什器備品	1	1	0
敷金	60,000	60,000	0
預託金	15,420	15,420	0
その他固定資産合計	75,424	75,424	0
固定資産合計	75,424	75,424	0
資産合計	34,645,555	36,375,970	△ 1,730,415
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	11,393,278	11,183,529	209,749
前受金	418,000	398,200	19,800
預り金	438,888	428,752	10,136
流動負債合計	12,250,166	12,010,481	239,685
負債合計	12,250,166	12,010,481	239,685
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 一般正味財産</b>	22,395,389	24,365,485	△ 1,970,100
(うち基本財産への充当額)	( )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	22,395,389	24,365,489	△ 1,970,100
負債及び正味財産合計	34,645,555	36,375,970	△ 1,730,415